

JGN II イベント利用報告書

平成 18 年 2 月 21 日
NTTコミュニケーションズ株式会社

(1) イベント名 (イベント番号)

「異種ネットワーク相互接続環境下における最適情報通信サービス実現のための制御技術の研究開発」に関する実証実験の公開 (イベント-124)

(2) イベント概要

【目的】

研究プロジェクトテーマ「異種ネットワーク相互接続環境下における最適情報通信サービス実現のための制御技術の研究開発」に関する実証実験 (JGN2-A17037) において実施する実証実験の公開を行う。

【内容】

GPS 機能を搭載したカメラ機能付携帯電話を用いて被災地(想定)を撮影し、その撮影した情報(画像、時刻、位置情報等)を柏崎市役所に送信すると、そのデータが新潟県庁に送付され、さらにその情報が JGN II を経由して総務省消防庁に送付される。被災地からの情報を動的に判別し、被災地との十分な通信サービスレベルを確保するように異種ネットワーク間でアクセス制御、帯域制御等が行なわれることについて公開実験を行う。

【参加者】

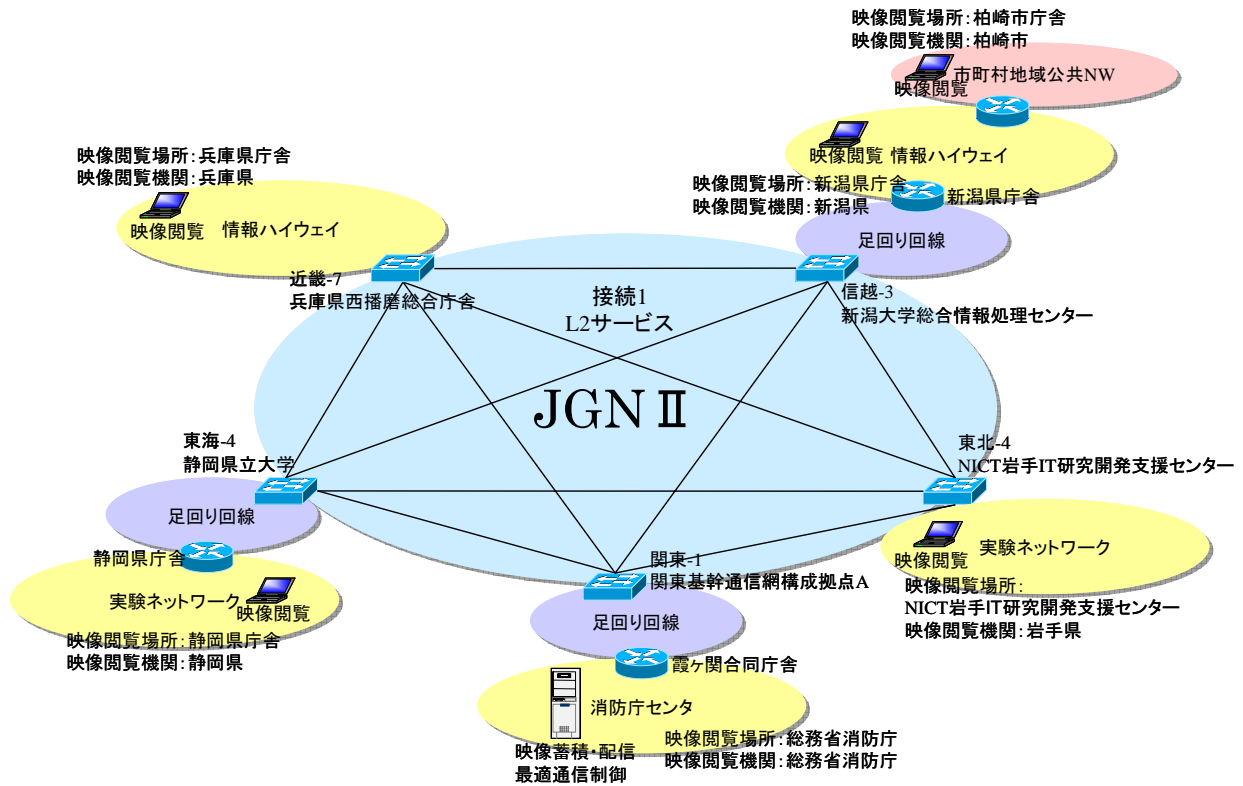
実証実験フィールド	参加者
総務省消防庁	国民保護防災部
岩手県	商工労働観光部 科学技術課 総務部 総合防災室 防災担当 総務省 東北総合通信局 情報通信部 情報通信振興課
柏崎市	市民生活部 防災・原子力安全対策課 総合企画部 情報化総合戦略室
静岡県	防災局 防災情報室 防災局 防災通信管理室 企画部 情報政策室
新潟県	副知事 県民生活・環境部 防災局 危機管理防災課 総合政策部 情報政策課
兵庫県	企画管理部 災害対策局 防災情報課 企画管理部 教育・情報局 情報政策課

イベント参加人数 約 60 人

(3) JGN2 利用の概要

実証実験フィールドとなる総務省消防庁、岩手県、新潟県、静岡県、兵庫県を相互に接続するためのバックボーンネットワークとして JGN2 を利用した。接続概念図、接続区間詳細情報は以下の通り。

ア. 接続概念図



(4) イベント実施の評価

- 大容量ネットワークを活用して、市から県、そして消防庁へとスムーズに情報が上がっていくことに関しては評価できる。数値での統計的情報や映像での視覚的情報に加え、それらの情報を見た上で現地の災害対策本部で議論されている様子・内容までわかると、よりスムーズに的確な支援が行えるだろう。
- リアルタイム中継の画質がもう少し鮮明であれば使い勝手が良くなる。SD ビデオカメラの映像は鮮明で降雪状況まで把握できる程なので有効である。

(5)開催模様

本公開イベントでは、実験フィールドとなる総務省消防庁、岩手県、新潟県、柏崎市、静岡県、兵庫県を JGN II および情報ハイウェイによって相互に接続した環境において、災害情報及び現場画像・映像の収集・登録・報告・閲覧を実施した。開催模様を以下に示す。

